



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2012.05.14

No. 35 - 39

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

企画会議

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

E-mail:office30@alpajapan.org

## 日本航空のパイロット達を支援する！ IFALPA 声明を全会一致で採択

2012年5月7日、第67回IFALPA年次総会に於いて、整理解雇問題で取り組む「日本航空の乗員を支援する声明」が全会一致で採択されました。声明は、解雇を有効と判断した東京地裁の判決は“WRONG”＝間違っていると確信するとし、日本の政府と司法に対して、解雇の撤回と問題の解決策を見出すよう日本航空に命じるよう求めています。

日乗連は運動方針に基づき、日本航空の整理解雇問題は、航空の安全と日乗連の全ての運航乗務員の雇用と労働条件に係わる問題として、引き続き全力で取り組んでいきます。

2012年5月7日

### 日本航空のパイロットを支援する声明

IFALPA(国際定期航空操縦士協会連合会)は、パリで開催された年次総会に於いて、81名の日本航空パイロットの解雇を支持した東京地方裁判所の判決に対し、大いなる失望を表明した。これらのパイロットは、不公正な病欠査定と年齢差別の両方の基準で、一年以上前に日本航空によって解雇された者たちである。

これらの解雇を有効と判断した東京地方裁判所の判決は、個人の身体検査履歴と年齢を基準とした差別を容認している。この判決は明らかにILO(国際労働局)第87号および第98号条約に違反している。

年齢を基準とする差別は多くの国で法律において禁止されており、現代の世界基準からも逸脱している。病気や怪我の個人記録を基準とした差別は、意図しない有害な結果を引き起こす引き金になりかねない。

第67回IFALPA年次総会に出席した390名の代表者は、自分たちの仲間の解雇に対する判決を不服として上訴する、日本航空のパイロット達の取り組みを支持することを満場一致で決定した。IFALPAは、日本航空経営者を支持するこの判決が根本的に誤ったものであったことを確信する。そして、人間の尊厳を公然と傷つけ、我々のような安全に敏感な産業において決して受け入れる余地のない内容であることを確信する。

IFALPAは、日本の政府と司法の両者に、直ちに解雇を撤回し、解雇されたパイロットに対し公平かつ公正な、現状を解決する解決策を見出すよう、日本航空に対し命じることを要求する。



以下に、IFALPA 声明の原文を紹介します。

May 7, 2012

## Statement of Support for the Pilots of Japan Airlines

The International Federation of Air Line Pilots' Associations (IFALPA), meeting at its Annual Conference in Paris, expressed extreme disappointment regarding the recent ruling of the Tokyo District Court which upheld the dismissals of 81 Japan Air Lines (JAL) pilots. These pilots were dismissed over a year ago by JAL based upon both age discrimination and unfair assessments of sick leave usage.

The Tokyo District Court's ruling that upheld these dismissals effectively condones discrimination based on age and personal health history. This ruling is a clear breach of ILO Conventions 87 and 98.

Discrimination based on age is illegal in many nations and deviates from contemporary global standards. Discrimination based on personal history of injury and sickness could trigger unintended, adverse consequences.

The 390 delegates attending the IFALPA 67th Annual Conference unanimously voted to support the efforts of Japan Air Lines' pilots to appeal their fellow pilots' dismissal. IFALPA firmly believes that this court decision supporting Japan Air Lines management was fundamentally wrong, is an affront to basic human dignity, and has no place in a highly safety-sensitive industry such as ours.

IFALPA calls upon both the Japanese Government and the court system to require JAL to retract the dismissals immediately, and find a resolution to this situation that is fair and equitable to these pilots.

